

コミュニケーション

独自製品開発に注力

(株慶(けい))

▽:設立当時に普及の兆しがあったXMLに着目、「得意なドキュメント技術を融合させて電子文書管理の会社を作ろうと創業した」と蒲生嘉達社長はいう。社名は、運慶・快慶に代表される鎌倉時代の仏師の一派「慶派」に由来し、「独創的



蒲生社長

なソフトの創造者であること、技を磨いて行く組織であること」という志が込められている。

▽:現在の事業は、ソフトの請負開発、パッケージソフトの開発、ネットワーク&サーバー構築・運用、人材コンサルティングだ。「新人研修と独自製品開発に注力し、下請けにはならない、協力会社を使わない」ことをモットーに事業を行っている。

▽:新人研修は、未経験者を採用し、3カ月から6カ月の研修を行い、それぞれの個性、素質に合った職種を提案、教育する。適性がプログラマーならJavaやVBドットNETを学んだ後、自社開発製品や社内ですべて用いているオープンソースのグループウェア「Aipo」のカスタマイズでプログラミングを实践で学ぶ。

▽:自社開発製品は、ソフト会社向け統合管理システム「POPEYE(ポパイ)」、申請書作成「行政ナビ」のほか、「性格診断」は「大手企業とのアライアンスを検討している」という。今年、営業部を設置した。「エンドユーザーを新規開拓し、システム開発を拡大したい」という。(Z)

◆98年9月設立、資本金1千万円、従業員30名、売上高3億円。東京都豊島区池袋1-8-7、サン池袋14F。03(5918)8210。